



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校
学校だより
10月号

【文化祭の練習がスタートしています。】

9月末に『まん延防止等重点措置』が解除され、その後10月31日までとされている『秋のリバウンド防止期間』も残り数日となりました。第6波に備えて、気を緩めることはできませんが、これまで制限されていた様々な活動が緩和されつつあります。学校でも、教育実習生の受入や分散による参観日、現場実習や校外学習などを実施できていることは嬉しいことです。

11月中旬から12月上旬にかけて、各学部・部門ごとに文化祭が開催されます。もう既に、教室のあちこちで、文化祭の準備や練習の様子を垣間見ることができます。今年度は、運動会が直前で無観客になったため、とても残念で悔しい思いをしました。文化祭は、有観客で、大きな拍手の中で行われることを願っています。引き続き、検温、マスクの着用、手洗い等にご協力ください。

(校長 西 千秋)

【コミュニティースクール】

本校は今年度からコミュニティースクールになりました。コミュニティースクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組みです。

本校では開校以来「まきび地域学校協働本部」を組織し、「地域とともにある学校」をめざして地域学校協働活動を行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響で前期はできなかった活動が多かったのですが、10月から徐々に始めています。10月の地域学校協働活動をお知らせします。

【まきびカフェ(福祉班)】

10月18日(月)、1回目の「まきびカフェ」を開催しました。昨年度までの「子育て1UP講座」を、より親しみやすい名称に変更しました。

CAP 岡山の山下明美先生をお迎えし、事前アンケートの結果をもとにお話しをしていただきました。その後グループに分かれて日ごろの悩み事を出し合いました。ペアレントサポートすてっぷの方が司会で、参加者の思いを引き出してくださいました。

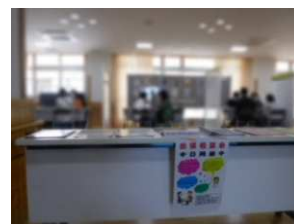
その場でも出てきた悩み事に、山下先生からのアドバイスをいただき、参加者のニーズに沿った会になりました。

次回は12月9日(木)です。お気軽にご参加ください。



【出張相談会(福祉班)】

10月19日(火)～21日(木)の3日間、個人懇談に合わせて「出張相談会」を行いました。この会は福祉班で長く取り組んでいる会で、真備地域生活支援センター、倉敷地域基幹相談支援センター、総社市障がい者基幹相談支援センターから相談員の方に来ていただきました。家庭での過ごし方、卒業後の生活、年金、仕事のことなど、3日間たくさんの方に利用していただきました。今まで相談支援を利用しなかった方に、情報を提供することができたと同時に、お住いの地域の相談支援機関につながることもできました。



【稲刈り体験(事務局・知的中学部)】

今年度からの新しい取り組みです。10月18日(月)、地域の別府さんのご厚意で中学部3年生が、6月に田植えをした田んぼで、稲刈りを体験させていただきました。鎌を使うのは、初めてでしたが、何度かしていく中で、一人でも上手に稲を刈ることができました。刈った稲は、順番にコンバインで脱穀してもらいました。毎日食べているお米を作ることは、大変だということがわかりました。



倉敷まきび支援学校ホームページ

倉敷まきび支援学校

検索



倉敷まきび支援学校 Facebook



フォロー、いいね!おねがいします
フォロワー270人突破!

